

平成30年12月11日

東部農林振興センター松江農業普及部

標 題 | 平成30年度第2回松江市花き若手生産者栽培研修会を開催

(ダイジェスト)

去る12月7日に、農業技術センターにおいてストック栽培管理をテーマとした標記研修会を開催しました。ストックは、冬季の切り花として重要な品目であり、松江市でも多くの花き生産者が栽培しています。今回は、栽培技術向上により品質向上や出荷量増加につながるよう、八重鑑別等を中心とした講義を受けました。

当日は、アーリーアイアン系等の品種が栽培されている農業技術センター花き科の栽培圃場の見学から始まり、開花状況を確認しながら開花調節技術（EODFR技術）の研究状況を中心に説明を受けました。ストックは、目標とする出荷期からずれて価格低下を招く事も多い事から本技術の早期普及が期待されます。

次に、花き技術普及課より播種から出荷まで栽培全般にわたってのポイントについて講義を受けました。ストック栽培は、子葉の大きさや葉色等で八重株と一重株を鑑別するのですが、実施には経験が必要な部分も多く、参考になる内容も多くありました。

また、ストックのスプレー系は、出蕾後頂花をピンチして分枝の発生を促す処理の時期によって草姿が違って来る等、適期作業の重要性について丁寧な説明もありました。

その後、松江普及部から病虫害防除について説明し閉会しました。

今回の研修会で学んだ技術が、若い生産者の品質向上や出荷量増加につながる事を期待したいと思います。



【栽培圃場見学風景】



【栽培のポイント説明】